

「福祉相撲号」の贈呈式

03月23日 10時01分



先月行われたチャリティーイベント「NHK福祉大相撲」の収益金をもとに購入された車「福祉相撲号」が、上越市の社会福祉法人に贈られ、22日、贈呈式が行われました。

「福祉相撲号」は、先月9日に、東京・両国の国技館で行われた

「NHK福祉大相撲」の収益金をもとに購入されたもので、ことしは全国で6台が全国の福祉施設に贈られます。

このうちの1台が上越市の社会福祉法人「清和会」に贈られ、22日、この団体が運営する短期入所施設「桑の里」で贈呈式が行われました。

式では、NHK新潟放送局の矢野達史局長が、「清和会」の横尾保朋理事長に、目録と記念品の横綱の色紙を手渡しました。

お年寄りを中心におよそ30人が入所する「桑の里」では日帰りの介護サービスなどを行っていて、贈られた7人乗りの乗用車は、これまで使っていた軽自動車に代わって山間部に住む施設の利用者の送迎に活用されるということです。

横尾理事長は、「職員ともども大変よろこんでいる。新しい車を使えば、送迎の時間を短くでき、利用者がより長く施設でサービスを受けられるようになる。今まで以上にサービスを充実させたい」と話していました。